

研修会

研修会名	会期	メインテーマ・講演・シンポジウム	共催	会場
社会歯科学会 「緊急課題対応ワー クショップ 2022」	2022. 11/13	<p>『効果的な歯科健診とその後の定期的な歯科受診を考える』 “いわゆる国民皆歯科健診”とはどうあるべきか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育講演 『健康経営優良法人ブライト500の取り組み』 株式会社ユニベン 代表取締役 石井 亮介氏 ● グループワーク I 「課題取り組みの紹介」 ● コメンテーターから 歯科医師会の立場から 小玉 剛 県行政の立場から 堀江 博 市行政の立場から 河本 幸子 大学の立場から 福田 雅臣 ● グループワーク II 「発表事例選定と問題点への対応策」 ● グループ発表・質疑応答 ● 総合討論 		
2021 年度 社会歯科学会 秋期研修会 in しずおか	2021. 10/17	<p>「新型コロナウイルス感染症への対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別講演 I 『新型コロナウイルス感染症への対応～歯科の「新しい診療様式」を考える～』 公益社団法人 日本歯科医師会 副会長 柳川 忠廣 ● グループワーク I 「各都道府県における取り組み」 ● 事例報告「神奈川県歯科医師会 感染対策強化型歯科診療所認定制度」 公益社団法人 神奈川県歯科医師会 常任理事 又吉 誉章 ● 特別講演 II 「新型コロナウイルス感染症への対応～国の視点から～」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小椋 正之 ● グループワーク II 「発表事例選定と問題点への対応策」 ● グループ発表 ● 総合討論（鼎談） 指定発言 一般社団法人 静岡県歯科医師会 専務理事 大内 仁之 特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 会長 佐塚 真理子 静岡県健康福祉部健康局 健康増進課 主査 種村 崇 公益社団法人 日本歯科医師会 副会長 柳川 忠廣 		
2019 年度 社会歯科学会 秋期研修会 in みやぎ	2019. 11/16- 17	<p>「人生 100 年時代における歯科保健を考える」～働く世代の健康を守る～</p> <p>11/16</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別講演 1 「今後の歯科口腔保健の方向性等について」 厚生労働省医政局歯科保健課 宮原 勇治 歯科口腔保健推進室長 ● 事例報告 「宮城県における保健医療・歯科保健医療の取組 	宮城県 歯科医師会	宮城県歯科医師会館 (宮城県宮崎市)

		<p>「について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎県における保健医療の取組について 和田 陽市 宮崎県福祉保健部次長 宮崎県における歯科保健医療の取組について 森木 大輔 宮崎県福祉保健部健康増進課主幹・ 宮崎県口腔保健支援センター長 <p>●グループワークⅠ「今、各地域で抱えている成人期における 歯科保健医療の課題を話しあおう」</p> <p>11/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演2 「産業医の立場から考える成人期保健の課題と 展望～すべての方に健幸を導く歯科保健への提言～」 江藤 敏治 宮崎県立看護大学教授 ●グループワークⅡ「地域の成人期における歯科保健の課題を 解決する糸口とは？～まず、自分たちにできること～」 ●グループ発表 ●総合討論 		
平成 30 年度 社会歯科学会 秋期研修会 in いしかわ	H.30 10/13- 14	<p>地域歯科保健のパラダイムシフト 歯科単独から地域連携チ ーム歯科へ ～「食べる」支援を視点として～</p> <p>10/13</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シンポジウム 「地域歯科保健のパラダイムシフト 歯科単 独から地域連携チーム歯科へ」を定着させるために ・『地域歯科保健のパラダイムシフト 歯科単独から地域連携チ ーム歯科へ』は何を意味するか 尾崎 哲則 (日本大学歯学部教授・社会歯科学会理事) ・石川県歯科医師会・栄養士会連携事業に取り組んで 宮田 英利 (石川県歯科医師会理事) 新澤 祥恵 (石川県栄養士会会長) ・多職種協働型食支援における歯科の役割～高齢者の「食べる 力」を支えるポイントとは～ 長谷 剛志 (公立能登総合病院 歯科口腔外科部長) ・これからの地域包括ケアは歯科が変わる！～食に関する社会 的サポートと住民主体のまちづくりによる介護予防・生活 支援～ 丸岡 三紗 (まんのう町国民健康保険造田歯科診療所 歯科衛生士) ●グループワークⅠ『『地域連携チーム歯科』を地域で根付かせ るためには何が必要か』 <p>10/14</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演 「伝えるより伝わり方が大事」 株式会社博報堂クリエイティブ・ヴォックス 代表取締役社長 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 太田 麻衣子氏 ●グループワークⅡ『『地域連携チーム歯科』を地域で根付かせ るためには何が必要か』 ●グループ発表 ●総合討論 	石川県 歯科医師会	石川県歯科医師会館 (石川県金沢市)
平成 29 年度 社会歯科学会 秋期研修会 in かながわ	H.29 10/21- 22	<p>オーラルフレイル最前線 ～ふたたび かながわ～</p> <p>10/21</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演「かながわにおける「未病改善」の取り組み ～健康寿命の延伸を目指して～」 	神奈川県 歯科医師会	神奈川県歯科医師会館 (神奈川県横浜市)

		<p>鈴木慎一（神奈川県保健福祉局保健医療部健康増進課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講演「オーラルフレイル最前線・神奈川県における取り組み」 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアによる健康寿命延伸事業の概要について 中條和子（神奈川県保健福祉局保健医療部健康増進課） ・神奈川県口腔ケアによる健康寿命延伸事業 オーラルフレイルの実情調査について 佐藤哲郎（神奈川県歯科医師会） ・神奈川県口腔ケアによる健康寿命延伸事業 オーラルフレイル改善プログラム介入調査について 渡邊 裕（東京都健康長寿医療センター研究所） <p>10/22</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合討論「オーラルフレイルを地域で展開するために」 ●情報提供「特定健康診査・特定保健指導について」 高野直久（日本歯科医師会 常務理事） 		
<p>平成 28 年度 社会歯科学会 秋期研修会 in やまがた</p>	<p>H.28 10/15- 16</p>	<p>医科歯科連携をさらに定着させるために</p> <p>10/15</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別講演 1「医療における歯科医療の役割」 嘉山孝正（山形大学医学部参与） ●ワークショップ「医科歯科医療連携をさらに定着させるために」 <ul style="list-style-type: none"> ・秋期研修会における医科歯科連携への取り組み 矢澤正人（東京都新宿区健康部、社会歯科学会副理事長） ・病院歯科から見た医科歯科医療連携の現状と課題 濱本宜興（山形県立中央病院） ・医科歯科医療連携の医療経済的側面からの分析 尾崎哲則（日本大学歯学部、社会歯科学会理事） ●イブニングセミナー「熊本地震における取組について」 牛島 隆（熊本県歯科医師会） 井下英二（滋賀県衛生科学センター、社会歯科学会理事） <p>10/16</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モーニングセミナー「行政における歯科専門職の役割について」 遠藤浩正（埼玉県東松山保健所、社会歯科学会理事） ●特別講演 2「医科歯科連携を通して日本歯科医師会が目指していること」 佐藤 保（日本歯科医師会副会長） ●ワークショップ「医科歯科医療連携をさらに定着させるために」 	<p>山形県 歯科医師会</p>	<p>山形県歯科医師会館 （山形県山形市）</p>